

業務名：防災通信ネットワークセキュリティ監視業務  
 特定企業名：NECネットエスアイ株式会社 北海道支店  
 住所：札幌市中央区北5条東2丁目1番地  
 代表者：支店長 山本 洋平  
 決定日：令和8年5月11日

評価項目	評価の着目点	判断基準	評価のウエート	企画提案者
				NECネットエスアイ株式会社 北海道支店
				配点
業務実績	過去10年間の同種又は類似業務の実績内容・件数	下記の順位で評価する。 ① 平成28年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成28以降に年度以降に類似業務の実績がある。 なお、業務実績がない場合は特定しない。 ③ ①②以外	①:5 ②:2 ③:特定しない	2
ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標の適合状況 ※複数の認定等に該当する場合には、最も配点が高い区分により加点を行う。	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等 (えるぼし・プラチナえるぼし認定企業、一般事業主行動計画策定企業)	「プラチナえるぼしの認定」、「えるぼし1～3段階目の認定」(いずれの段階においても「評価項目3:労働時間等の働き方」の基準を満たしていることが必要。)を取得している場合又は一般事業主行動計画(計画期間が満了していないものに限る。)を策定・届出(常時雇用する労働者の数が100人以下の企業に限る。)をしている場合には優位に評価する。 ①プラチナえるぼし ②えるぼし3段階目 ③えるぼし2段階目 ④えるぼし1段階目 ⑤一般事業主行動計画	①:5 ②:4 ③:3 ④:2 ⑤:1	4
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定等 (くるみん・プラチナくるみん・トライくるみん認定企業、一般事業主行動計画策定企業)	「くるみん認定」(平成29年3月31日までの基準、平成29年4月1日から令和4年3月31日までの基準、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの基準又は令和7年4月1日以後の基準)、「プラチナくるみん認定」又は「トライくるみん認定」(令和4年4月1日から令和7年3月31日までの基準又は令和7年4月1日以後の基準)を取得している場合又は一般事業主行動計画(計画期間が満了していないものに限る。)を令和7年4月1日以後に策定又は変更(常時雇用する労働者の数が100人以下の企業に限る。)をしている場合には優位に評価する。 ①「プラチナくるみん認定」 ②「くるみん認定(R7.4.1以後の基準)」 ③「くるみん認定(R4.4.1～R7.3.31までの基準)」 ④「トライくるみん認定(R7.4.1以後の基準)」 ⑤「くるみん認定(H29.4.1～R4.3.31までの基準)」 ⑥「トライくるみん認定(R4.4.1～R7.3.31までの基準)」 ⑦「くるみん認定(H29.3.31までの基準)」 ⑧一般事業主行動計画(R7.4.1以後に策定又は変更)	①:5 ②:4 ③:3 ④:3 ⑤:3 ⑥:3 ⑦:2 ⑧:1	5
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定 (ユースエール認定企業)	「ユースエール認定」を取得している場合には優位に評価する。 ①取得 ②未取得	①:4 ②:0	0
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性	下記に該当する場合は特定しない。 ①業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。 ②再委託の内容が主たる部分の場合、再委託理由が記載されていない場合又は不明確な場合。 ③記載がない場合。	数値化しない	—
予定管理技術者の経験及び能力	専門技術力 業務執行技術力 過去10年間の同種又は類似業務の実績内容	下記の順位で評価する。 ①平成28年度以降に同種業務の実績がある。 ②平成28以降に年度以降に類似業務の実績がある。 なお、業務実績がない場合は特定しない。 ③①②以外	①:5 ②:2 ③:特定しない	2
小計(満点:24点)				13

評価項目	評価の着目点		判断基準	評価のウエート	NECネットエスアイ株式会社 北海道支店
					配点
実施方針 ・実施フロー・工程表 ・その他	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。 ①特記仕様書の内容を反映し、さらに業務背景を踏まえた条件及び内容等の適切な記載がある場合。 ②特記仕様書の内容が反映されている場合。 ③特記仕様書の内容を反映されていない、又は異なる内容となっている場合。	①:15 ②: 8 ③: 0	8.0
	実施手順		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。 ①項目が網羅され、実施手順が妥当であり、かつ、フィードバックが適切に設定されている場合。 ②項目が網羅され、実施手順が妥当である場合。 ③項目に漏れがある、記載ミスがある、または実施手順が不適切な場合など。	①: 5 ②: 3 ③: 0	3.0
			業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。 ①項目が網羅され、実施工程が妥当であり、かつ、フィードバックが適切に設定されている場合。 ②項目が網羅され、実施工程が妥当である場合(パーチャートのみ)。 ③項目に漏れがある、記載ミスがある、または実施工程が不適切な場合など。	①: 5 ②: 3 ③: 0	3.0
	その他		有益な代替案及び重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。 ①優位に評価できる。 ②評価できる。 ③評価できない。	①:10 ②: 5 ③: 0	10.0
特定テーマ に対する 企画提案	全体	特定テーマ間の整合性	複数の特定テーマ間の整合性が高い場合は優位に評価し、矛盾がある等整合性が著しく悪い場合は特定しない。 ①優位に評価できる。 ②評価できる。 ③評価できない。	①:10 ②: 5 ③: 0	10.0
	特定テーマ	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 必要なキーワード(着眼点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。 ①優位に評価できる。 ②評価できる。 ③評価できない。	①:10 ②: 5 ③: 0	5.0
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。 ①優位に評価できる。 ②評価できる。 ③評価できない。	①: 5 ②: 3 ③: 0	5.0
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。 ①優位に評価できる。 ②評価できる。 ③評価できない。	①: 5 ②: 3 ③: 0	5.0
参考見積	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない	予定業務規模内で あり適切と判断
小計 (満点:65点)					49.0

合計評価点 (満点:89点)	62.0
----------------	------